

(公社)全日本不動産協会、(公社)不動産保証協会、(一社)全国不動産協会、全日本不動産政治
連盟 栃木県本部 令和6年度第22回定時総会、年次大会本部長挨拶

本部長 稲川 知法

令和6年5月16日 於：東武ホテルグランデ

本日、(公社)全日本不動産協会 並びに (公社)不動産保証協会 (一社)全国不動産協会 全日本不動産政治連盟 各栃木県本部 令和6年度第22回定時総会開催にあたりまして、栃木県県土整備部住宅課より、三澤隆裕(たかひろ)課長のご臨席を賜り、無事に開催出来ます事を先ずもってご報告致しますと共に、御礼申し上げます。

既にご承知とは思いますが、栃木県本部は平成15年3月に、全国で45番目の県本部として認定されました、会員数概ね200社の少数県本部でございます。

その様な中で、県本部単独での事業展開については、費用の面でも、また講師等の派遣でも、人脈やら人選で、幾多の困難な問題がございました。然し乍ら、それらを仲間として受け入れて下さった、全日総本部・関東地区協議会の面々が、全てにおいてご協力、ご尽力を賜りました事で、全て解決出来ました。此れは、如何に全日が素晴らしい組織であるかを証明しております。

その例が、「全国不動産会議栃木県大会」の成功でございます。総本部・関東地区協議会の協力無しには、開催する事さえ不可能でございました。然し乍ら、費用の増額に対しましても、嫌な顔をせず、黙々と内容をチェックする姿には、ただ頭が下がるばかりでした。

この様に、少数県本部が多額の費用を掛けて、事業を開催できる組織は、全国どこを見ましても全日以外は有りません。此れが、私共が誇る組織力で有ると思います。

栃木県本部は未だ、発展途上でございます。全国の会員の皆様に、今までお世話に成りましたご恩をお返し出来ます事が、私たちの此れからの課題と居ります。どうか栃木県会員の皆様、(公社)全日本不動産協会の会員で有る誇りと、自負を強く持たれ、更に精進して頂きたいと思致します。

結びになりますが、今年度は令和5年度の事業報告と、決算報告が主たる事項でございます。一年間の事業を顧みて頂く事で、新たな事業展開が見える事も有ります。同時に、皆様の会費使途の確認も、重要でございます。新しい事業展開の為にどの様に利用すべきかを、ご確認頂けますと、幸いです。どうか今後とも、会員諸氏のご支援、ご協力をお願い申し上げ、総会に先立ちましてのご挨拶といたします。

本日は、有難うございます。